

## 5) 課題と協議事項

## 各種けん診における課題

- ・ 高齢者の大腸がん検診・肺がん検診受診率の低下。

↓

「高齢者への効果的ながん検診の啓発方法等は?」

## 健康増進部会で協議された意見

- ・ わかりやすい内容での個別通知を行う。
- ・ 協会けんぽと連携しての集団の肺がん検診は効果があると思う。
- ・ 高齢者が集まるサロンや百歳体操会場で、勧奨チラシの配布等の啓発を行う。
- ・ 肺がんは65歳以上、大腸がん等の他のがんは70歳以上が受診料無料であることを前面に出して啓発する。
- ・ 健幸ポイントのチラシに検診の詳細を載せる。
- ・ けん診の実施期間が長いといつでも行けると思い、行く機会を失うので、風邪がはやる秋ぐらいまでで終了するとよいのではないか。

## 特定健康診査・特定保健指導における課題

- ・ 若い世代の特定健診受診率・特定保健指導実施率が低い。

↓

「若い世代の受診率・実施率をあげる方法は?」

## 健康増進部会で協議された意見

- ・ 若年層の集まる場での啓発を行う。
- ・ 健康推進員の地域での活動を通じて啓発を行う。
- ・ 特定保健指導は、年代ごとのニーズに合わせて、集団や個別、訪問等手法を変えて実施する。
- ・ 指導に加えて参加したくなる楽しい特典を企画する。